

学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開と効率的な職員研修の研究 — 帯活動を活用した授業展開の方法と指導力・英語力向上をねらった職員研修の研究 —

教育実践力高度化コース

18AD007

久保 和之

【指導教員】 及川 賢 上園 竜之介 田子内 健介

【キーワード】 外国語 外国語活動 授業展開 帯活動 教員研修

1. はじめに

現在、小中高大では英語教育の改革が進められ、小学校での外国語の教科化や大学入試の議論が進められている。小学校では2020年度からの学習指導要領全面実施に向け、今年度は移行期間2年目を迎えた。「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」によると、2011年度から導入された5・6年生の外国語活動の成果は、「児童の高い学習意欲」「中学生の外国語教育に対する積極性の向上」であり、課題は「中学校の段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていない」「発音と綴りの関係」「文構造の学習」「学校種間の接続」などだった。今回の改訂ではこれらを踏まえ、小学校3・4年生に外国語活動、5・6年生に教科として外国語科が位置づけられる。3・4年生では「聞くこと・話すこと」を中心にして外国語に慣れ親しみ、5・6年生では「聞くこと・話すこと」の定着と段階的に文字を導入しながら「読むこと・書くこと」を慣れ親しませる学習を行い、中学校への接続を重視する。

2. 先行研究

文部科学省からは教材 *Let's Try!*、*We Can!*、年間指導計画例、指導案例などが示され、各学校ではその内容を踏まえて全面実施に向けた準備が進められている。しかし、学校現場では、外国語(活動)を指導するにあたり、教師から不安の声も多く聞かれる。少し前の数値ではあるが、Benesse 教育研究開発センター(2011)が教務主任2,383人と5・6年学級担任2,326人を対象に行った調査では、外国語(英語)指導への不安に関する項目「あなたは、外国語(英語)活動を指導することに自信がありますか」の問に対し、「あまり・まったく自信がない」の回答が約7割を占めている。さらに、松宮(2013)は、小学校外国語活動に関する教員の授業指導不安に対し、直接的に影響を及ぼしている要因の1つは授業設計(ティーチングプランの作成、教材研究、年間カリキュラム開発)に対する不安であることを明らかにした。

また、本主題に関し、課題と思われることとして2つが考えられる。1つ目は、教師の多忙化などにより十分な授業準備の時間が確保できていないことである(文部科学省, 2018)。2つ目に「外国語」を使った授業であるため、教師が活用する外国語(英語)の技能に対する課題である。この点に関しては、及川(2018)が実施した「小学校外国語に対する

教員の意識」のアンケートから、研究指定を受けた地域においても、多くの小学校教師が難しいと感じているのは「教師に英語力が必要となる活動」と「言語活動作成実施」であるという結果も出ている。また、「教員の不安を解消するためのサポート体制としては、まず教員の英語力向上に役立つ手段を講じることが急務で...ワークショップ的な研修が必要であろう」との示唆もある(及川, 2017:510)。

これらのことから、本研究では、外国語(活動)の授業を、専科ではない学級担任とALTのティームティーチングや学級担任単独で行う場合に「指導しやすい授業展開」の在り方について研究することとした。また、指導力・英語力向上をねらいとした「効率的な職員研修」の在り方についても研究する。

3. 研究の目的

先行研究を踏まえ、「指導しやすい授業展開」としては、授業の進め方をある程度パターン化し、ルーティーンの帯活動として行うものと活動をを進めるための教室英語を決めることで、毎回の授業準備をコンパクトにする必要があると考えた。また、教員が指導力・英語力を高める実践的な研修の機会を効率的に持つことが大切だと感じた。本研究では以下の2つの疑問に答えることを研究の目的とする。

- (1)複数の帯活動を取り入れた授業展開にすれば(授業の進め方のパターン化)、担当教員は指導しやすいと感じるようになるであろうか。(「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開の研究」)
- (2)授業展開に合わせた研修を行うことで、指導力や英語力を高める効率的な研修を行うことができるであろうか。(「効率的な職員研修の研究」)

4. 研究の方法

2つの疑問に対し、以下の手立てを行い、アンケートやインタビューを通して検証することとした。

(1)の手立て

- ①帯活動を毎時間の授業の活動として位置付けて行う。
(あいさつ、発音・語彙指導、歌、単語ゲーム、教材 *Let's Try!*、*We Can!* からの主活動)
- ②授業案(毎時間の授業計画兼ALT打ち合わせ資料を「授業案」とする(図3))の作成と活用(活動を進めるための

教室英語と単元のキーフレーズを入れる。)

③授業案に沿った教材の整理と作成をする。

④①～③を活用した授業実践

(2)の手立て

⑤短時間職員研修の実践

⑥外国語(活動)担当者による帯活動を入れた授業の実践

⑦長期休業中の職員研修の実践

5. 研究の実践(1年次)

1年次の研究として、以下のように実践を行った。授業は所属する小学校の3～6年生を対象に行い、長期休業中の職員研修(2018年8月)は所属する町の小学校職員を対象に行うこととした。

4月：5・6年生外国語(活動)の授業案作成(1学期分)
教材整理、授業参観(5年生)
7月：外国語(活動)に関する職員対象アンケート
8月：ときがわ町外国語(活動)指導法研修会
9月：3・4・5・6年生用授業案作成(3・4年生用15時間分、
5・6年生用50時間の内の残り分)
授業実践(3～6年生2回 授業者：久保)
授業参観(3～6年生1回 授業者：学級担任)
10月：授業参観(3～6年生1回 授業者：学級担任)
教材整理、授業案調整
11～12月：2019年度に向けた授業案作成、教材整理、指導力・英語力向上のための研修計画
1月：成果と課題の考察

(2018年度、所属校では3・4年生15時間(2学期のみ)、5・6年生50時間(通年)で移行期間1年目が計画された。)

研究主題(1)と(2)の実践として、以下の(1)～(6)に取り組んだ。

(1)帯活動を毎時間の授業の活動として位置付けて行う。

<帯活動の内容>

①あいさつ(学年ごとの「あいさつの型」に沿って)

②発音・語彙指導

③歌

④単語ゲーム(5・6年生のみ)

⑤Let's Try!、We Can!、Hi, friends!から主活動となるものを選んで行う。

(2)毎時間の授業案の作成と活用

①3・4年生用15時間分、5・6年生用50時間分全ての時間の授業案を作成した。

②授業直後や放課後に担当者がこれを活用して、次週の内容・進捗の確認を行うこととした。

(3)授業案に沿って、活用できる教材の整理

①3～6年生で、学年ごとの「あいさつの型」を決め、授業案に載せる。

②発音・語彙指導用フラッシュカードと歌指導用資料で、既存のものを整理し、必要なものを作成した。



図1 計画にそった内容のフラッシュカード

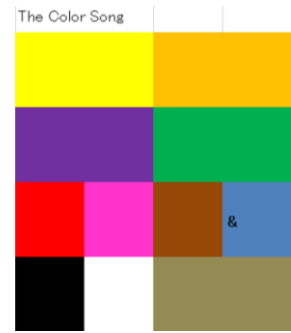


図2 計画に沿った歌の拡大掲示

授業計画 Lesson Plan of 6th Grade No. 31

1. あいさつ Greeting

・英語であいさつする。(プリントにそって、ALTと担任で示しながら。)

(Greeting in English. Using the paper, showing the model by ALT & HRT)

(JT: Let's start. Stand up.)

JT: Hello, class. (児童に)

C: Hello, Mr. / Ms. ~.

ALT: Hello, class.

C: Hello, Mr. / Ms. ~.

JT: How are you? (ALTに)

ALT: I'm ~. How are you?

C: I'm happy / very good / good / hungry / sleepy / sad.

JT: What month is it?

C: It's ~.

ALT: What date is it?

(JT: O.K. Sit down.)

学年ごとのあいさつの型

2. リピート練習 語彙と発音に親しむ活動

○Let's Practice Vocabularies...

Practice of Vocabularies (職業・場所"Jobs and Places")

3. 歌 ○Let's sing a song.

"Someday"

(単語ゲーム ○Next, five minutes trial)

(5 minutes - trial. (A～Z) 'P'からはじまる単語を5分間で集める。)

発音・語彙指導の語彙

歌の名前

4. "We Can!" "Hi friends!" などのそれぞれの Unit, Lesson の活動

○Next, "We Can!" / "Hi, friends!" activities.

We Can! Unit 9 "Who is your hero?" 「あこがれの人」①

めあて「得意なことの言い方を知ろう」

<キーフレーズ> "Who is your hero?" "This is my hero."

"He / She is good at..." "He / She can..."

(1) P66.67 Let's Watch and Think

映像を見て、わかったことを口に書こう。

(2) P69 Let's Listen 3

三人のことに聞いて、わかったことを口に書こう。

If time is available... (時間があれば)

(3) P69 Activity 1

自己紹介をし合い、友達についてわかったことを表に書こう。

進行のための教室英語

単元のキーフレーズ

5. Greeting (Closing)

○Let's finish the class.

ALT: Thank you everyone. C: Thank you Mr. / Ms. ~.

JT: Thank you everyone. C: Thank you Mr. / Ms. ~.

図3 授業案(時間が取れない場合は、紙面に書き込んで打ち合わせする。)

(4)帯活動を入れた授業案を活用した授業の実践

9月14日(金)・21日(金)に久保が授業を実践し、3～6年の学級担任が参観した。その後、9月28日(金)・10月5日(金)に学級担任が授業を実践した。授業後、空き時間に帯活動と授業案等を活用した授業のフィードバックをもらった。

(5)(4)の授業実践を踏まえた2019年度用の年間指導計画、授業案3～6年生の作成、それらに合わせた教材整理と作成を行った。

2019年度年間指導計画案には、単元・時数・その単元のキーフレーズとなる表現・児童が慣れ親しむ語彙・帯活動の計画を入れることとした。

表1 2019年度分年間指導計画の帯活動の部分

リポート練習	歌	ゲーム	教材・主活動
アルファベット大文字 A-F	Hello Song	・ジェスチャーゲーム ・What's missing	③P2-3 Let's Watch & Think P4 Let's Listen ③P5 Activity 名刺交換
アルファベット大文字 A-L	・Rainbow Song ・Color Song	・What's missing(色) ・ジェスチャーゲーム(スポーツ) ・What's missing (果物、野菜) ・ABCカルタ	③P14.15 Activity11 Let's Watch and Think ③P15 Let's Listen 1,2 ③P16 Let's Listen 3 P17 Let's Watch and Think 2 ③P17 Let's Play, Activity ③P22.23 Let's Watch and Think ポインティングゲームA-M

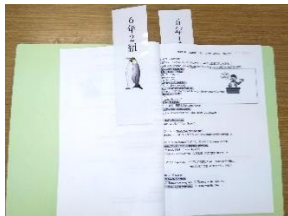


図4 全時間分の授業案



図5 授業計画に合わせた教材整理

(6)「効率的な職員研修の研究」として、夏季休業中ときがわ町小学校職員を対象に外国語(活動)研修の実践を行った。研修は、事前アンケート、研修、フィードバックという流れで行った。

まず、外国語(活動)の授業を行う上で、職員の実態や求められている研修内容の調査等をした(回答者 31 名)。アンケートでは、「外国語(活動)の授業を ALT と一緒にスムーズに行うことができる」「外国語(活動)の授業を担当することに対し、不安を感じている」「外国語(活動)の授業を担当する上で不安を感じていること(複数回答可)」などの項目についてだった。その結果明らかになったこととして、本町の約 8 割の小学校教員は外国語・外国語活動の授業を担当することに不安を感じており、その中でも「英語力」とりわけ「話す」ことへの不安が大きいということだった。(図 6、7)

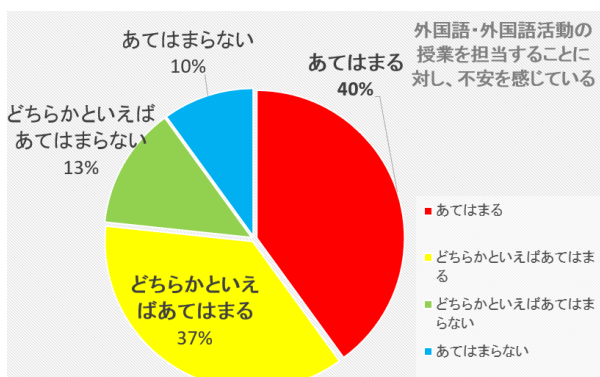


図6 ときがわ町小学校教員によるアンケート結果(授業への不安)

項目	人数(人)
授業の進め方	16
ALTとのIT	3
単独で授業を進めること	18
英語力	25
(英語力の中でも) 聞く	3
(英語力の中でも) 話す	15
(英語力の中でも) 読む	1
(英語力の中でも) 書く	4
(英語力の中でも) 全般	9
評価方法	11

図7 ときがわ町小学校教員によるアンケート結果(授業を担当する上での不安)

さらに、作井(2018)の小学校教員に対する「英語力測定の質問紙」を参考に、以下の教室英語に関するアンケート調査を行ったところ、本町では現状としてB段階とC段階に約7割が集中していることが分かった(Fに向かうほど高度になる)(表2、図8)。

表2 外国語(活動)の授業をする際に活用している教室英語の段階

段階	外国語(活動)の授業をする際の教室英語
A	英語で簡単な挨拶(Good morning, Hello, How are you?)などができる。
B	簡単な言葉で英語の指示ができる。(Stand up, Sit down など)
C	自己紹介を英語で行ったり、教室で使う英語表現の基本的なものを使うことができる。(Look at me, Listen to the CD など)
D	決まった活動(ルーティーン)であれば、英語だけで指示ができる。(簡単なゲームを英語で行うなど。)英語でその時間のポイントとなる言葉と日本語の補助を入れながら授業を進められる。
E	英語で指示したこと説明したことがうまく伝わらない場合、落ち着いて他の表現を使って言い直しをして伝えることができる。日本語で補助を入れながら、自分で考えた言葉で活動の指示をし、授業を進められる。
F	身振り、手振りを交え、英語での指示やフィードバックを中心にして授業をすることができる。

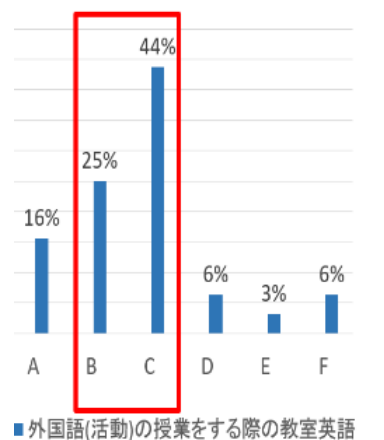


図8 外国語(活動)の授業をする際の教室英語に関するアンケート調査の結果

この調査を受け、2018年8月22日(水)に夏季休業中の職員研修として、「ときがわ町小学校外国語(活動)指導法研修会」(ときがわ町小学校職員 27 名参加)の実践を行った。研修の内容は以下の通りだった。

- 1.外国語・外国語活動の動向について
 - (1)2018年度、2019年度の移行期間、全面実施について
 - (2)評価について
 - (3)小学校外国語(5・6年)、小学校外国語活動が導入されるにあたっての現場の声
- 2.演習
 - (1)ウォーミングアップ
 - (2)ワークショップ
 - ①あいさつ②発音・語彙指導③歌の指導④単語ゲーム
 - (3)新教材 *Let's Try!*, *We Can!*について
 - (4)「外国語・外国語活動の授業ルーティーン」に挑戦
- 3.終わりに

1の「外国語・外国語活動の動向について」では、主に移行期間中の流れ、移行期間中の評価、前述したときがわ町の小学校教員へのアンケート結果について伝えた。アンケートでは、研修で行ってみたいものに関しても、「英語力を向上させる研修」の中の「話す」が多かったことを受け、教科化にあたり、教室英語に関するアンケート調査での、B段階がC段階へ、C段階がD段階に移行することの重要性について話した。

2では、実際に授業の展開例として本研究で実践する帯活動の演習を行った。

6. 研究の結果(1年次)

「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開」に関して、授業実践後に担当した教員へのアンケート調査を行い、指導のしやすさを5段階(「5」が最も肯定的)で調査し、それぞれに自由記述欄を設けた(回答数5名外国語(活動)授業担当者)。

(1) 帯活動(授業の流れ)について

5(2人:40%)、4(2人:40%)、3(1名:20%)

(2) 授業計画に含まれる教室英語(言葉)について

5(3人:60%)、4(2人:40%)

(3) 授業計画について

5(1人:20%)、4(4人:80%)

(帯活動について) ○=よかった点、△=課題点など

○指導資料を時系列に沿って作成してあるので指導しやすかった。

△ALTが話を振ってくれたので何とか授業としては成り立ったが、T1となった場合、指導できるか不安だ。

(教室英語について)

○決まった言葉があるので誰でも使いやすいし、覚えやすい。

(授業計画について)

○事前に本時の内容が理解でき、とても有効であると思う。また、打ち合わせをしている時はさらに活用しやすい。

○一単位時間の計画があるのでとても助かる。

○指導することがハッキリ書いてあるので良いと思う。

○授業の始めに、語彙指導等を毎回くり返し学習することで定着が図れていると思う。

△デジタル教材を使用して授業するところ(使った方がスムーズな所)にマーク(印)があると活用しやすい。

△担任とALTの役割分担がわからなかった。

(その他)

○デジタル教材が使いやすいのでALTなしでもやりやすい。

帯活動、帯活動に合わせた教室英語、授業計画、整理した教材に関しては全て「指導しやすかった」の5・4が80%以上となり、疑問(1)「複数の帯活動を取り入れた授業展開にすれば、担当教員は指導しやすいと感じるようになるだろうか」はおおむね指導しやすいと感じるという結果となった。

「効率的な職員研修の研究」として、ときがわ町小学校外国語(活動)指導法研修会後に参加者への自由記述のアンケート調査を行い(回答数27名)、以下が主な記述だった。

- ・授業の流れや帯活動が有効だった:9名
- ・デジタル教材が有効だった:10名
- ・授業することや英語を活用することへの積極的記述:8名
- ・不安:6名

<具体的な回答>

- ・授業の流れを示していただいたので、一つの方法として参考にしたい。
- ・実演の演習ができて、流れがだいたいつかめた。まだまだ不安な箇所だらけだが頑張りたい。
- ・普段の教材研究に加えて、外国語の指導法研修を行う時間はなかなかとれないが、本日のような基本型があるとわかりやすく、すぐ授業に生かせると思う。デジタル教材を実際に使う所も見せていただいたので、活用していけそうな気持ちになった。

疑問(2)「授業展開に合わせた研修は、指導力や英語力を高める研修を効率的に行うことができるだろうか」に関し、実践した研修の参加者やその後に授業を実践した教員からは肯定的なフィードバックがあった。アンケート自由記述では、長期休業中の職員研修やその後の授業実践について、「授業の流れや帯活動」「授業することや英語を活用すること」「デジタル教材の有効性」に積極的記述が書かれていた。しかし、対象となる教員数が少なく、疑問(2)の「指導力」「効率性」「英語力」に関しては数値による検証を行わなかったため、2年次に検証していくこととした。

7. 研究の実践(2年次)

1年次の実践では、複数の帯活動を活用した授業のパターン化がおおむね有効であることが分かった。1年次の成果と課題を踏まえ、2019年度(移行期間)の3・4年生、5・6年生全時間分の授業案を作成した。2019年度はこれをベースに研究を行うことで(1)「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開の研究」に迫っていく。また、英語力の「話す」に特化した研修を継続的に行って英語力の「話す」に対応した取り組みをすること、長期休業中の職員研修の実践などを通して(2)「効率的な職員研修の研究」に迫っていくこととした。そのため、「研究の目的」の疑問(2)を「『話す』に焦点を当てた継続的な短時間研修と授業展開に合わせた研修を行うことで、指導力や英語力を高める研修を効率的に行うことができるだろうか。」とした。2年次の実践を以下のように行った。

- 4月:研究について職員への周知
授業案を活用した授業実践開始(5・6年生)
- 5月:職員・児童への外国語(活動)に関するアンケート
- 6月:短時間研修(職員)開始(通年)、校内授業公開
- 7月:町内小学校外国語(活動)に関する職員対象アンケート
鳩山町立亀井小学校職員研修実践
- 8月:ときがわ町外国語活動指導法研修会実践
ときがわ町立玉川小学校校内研修会実践
- 9月:3・4年生授業実践開始(2学期のみ)
- 11月:ときがわ町立玉川中学校との小中連携事業
(校内授業公開)
- 12月:2020年度に向けた年間指導計画の準備
- 1月:成果と課題の考察

研究主題の「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開の研究」の実践としては、(1)帯活動を取り入れた授業案での授業実践、(2)授業案に沿って整理した教材の活用、「効率的な職員研修」の実践としては、(3)短時間職員研修の実践、(4)長期休業中の職員研修の実践であった。また、(1)授業案での授業実践は「効率的な職員研修の研究」とも関連付けて行った。

(1)帯活動を取り入れた授業案での授業実践(3～6年)

2019年度用3～6年生全時間分の時間の授業案を活用し、担当者が授業実践を行った。(図9)



図9 担当者による授業実践の様子

2019年度、所属校は5・6年生が通年で隔週の火曜日と毎週水曜日、3・4年生が2学期のみ毎週火曜日または水曜日に外国語活動の授業を行った。4月には6年生の担当教員(5年生担当は久保)・ALTと授業案を活用した授業の進め方や整理した教材の活用法などについて打ち合わせを行った上で授業実践を開始した。

授業案は2018年度の実践により調整を加えた。その単元・その時間にキーフレーズとなる表現を上部に記入し、それぞれの帯活動の内容を枠内に入れ、各活動の目標時間、主活動には、めあて、ページと項目、デジタル教材を活用するものには「罫」の記号を入れ、時間や使用する教材がより明確になるように努めた。(図10)

授業実践中は、毎週授業後や放課後にALTと担当者と短い打ち合わせをして進めた。その際には、授業案の「歌」「発音・語彙指導」「練習するアルファベット・単語ゲームの文字」「主活動の場所・使用する教材」など、確認が必要な項目のみを絞って確認し、できないときには変更点を授業案に直接書き込んでメモを残すなどした。

また、この授業案を活用した授業展開について、授業公開をしたり、一緒に授業実践をしたりすることで所属校職員への周知を図った。授業公開を行ったのは、6月26日(水)に第5学年のWe Can! 1 Unit 1 “Hello, everyone.”と、11月6日(水)に小中連携事業の一環として第6学年のWe Can! 2 Unit 4 “I like my town.”だった。また、3・4年生が15時間の外国語活動を開始した9月には、3年生の学級で担任・ALTと一緒に授業案を活用した授業を行うことで、研究主題「指導しやすい授業展開」に迫っていった。

授業案 Lesson Plan of 6 th Grade		キーフレーズ
Key Phrase: When is your birthday? My birthday is March eighteenth.		
時間	教室英語と活動の説明(デジタル教材は罫)	準備物等
3分	1. あいさつ Greeting JT: Stand up. Let's start English class. S: Yes. ALT: Good morning/afternoon, class. S: Good Morning/afternoon, Mr. / Ms. ~. JT: How are you? (ALTに) ALT: I'm ~. How are you? JT: I'm ~. How are you? S: I'm happy / very good / good / hungry / sleepy / sad. 自分の様子を入れて JT: What's your name? (ALTに) ALT: I'm ~. (first name) What's your name? JT: I'm ~. What's your name? (原簿に) S: I'm ~. (自分の名前を入れて) ALT: What day is it? S: It's ~. *横やカレンダーなどで確認 ALT: What date is it? S: It's ~. ALT: How is the weather? S: It's ~. 誰かの誕生日または誕生日が近かった時には、ALT: It's ~-san's birthday. How old are you? S: I'm eight / nine years old. などを用意に聞かせる。(次を促して指導するときは JT: Sit down.)	
4分	2. 歌 Song O: Let's sing a song. ・ “The Days of the Months.” を歌う。	CD 歌譜カード
3分	3. 発音・語彙指導 Practice of Vocabulary O: Let's Practice Vocabulary. 語彙と発音に親しむ活動 Practice of Vocabulary.(序数1～3.1 the ordinal number)	音声教材CD フラッシュカード
7分	4. 文字 Letters O: Let's learn letters. ・ 文字を書く練習(大文字①) (Practice writing letters)	ワークシート Work sheet
25分	5. We Can! / Hi, friends! Next, Hi, friends! activities. Hi, friends! 2.L2 ① When is your birthday? 行事、月、日付 めあて： 世界や日本の行事 (1) P.67 Let's Play 1 罫 (2) Let's Listen 1 罫	PC画または拡大 Digital Material or big copy
3分	6. ふりかえり(学習カード)・あいさつ Feedback and Greeting (Closing) O: Let's finish the class. ALT: Thank you everyone. S: Thank you Mr. / Ms. ~. JT: Thank you everyone. S: Thank you Mr. / Ms. ~.	学習カード

図10 2019年度用授業案

(2)授業案に沿って整理した教材の活用

2年次の実践では、授業案に合わせてデータ上で整理した教材を活用して授業を行った。その際、例えば年間指導計画上50時間分の25～28時間目でWe Can! 1 Unit 3を扱う場合には、図11の「5年教材」の中の“5th 25-28WC1U3”フォルダの中にあるデータをWe Can!のデジタル教材から開くと図12のような単語のリストが出てきてデジタル教材上でフラッシュカードの役割を果たす。これを主に帯活動の「発音・語彙練習」のときに活用した。また、語彙の種類によってはパワーポイント上にフラッシュカードをまとめておき、ゲーム“What's missing(複数のフラッシュカードの中から、ぬいたカードを当てるゲーム)”などを行うときに使用した。(図13)

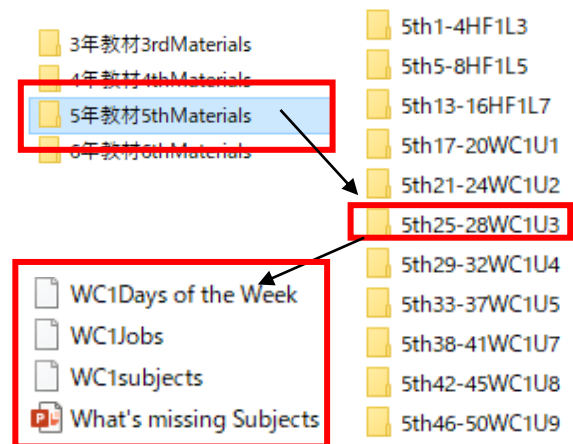


図11 学年ごとにデータで整理した教材



図 12 発音・語彙指導を行うときに使用した教材



図 13 ゲームを行うときに使用したパワーポイント教材

また、年間指導計画・授業案上で計画した全ての学年の歌を 1 枚の CD にまとめたり、拡大用紙や児童用の歌詞カードで作成しておいたものも毎回使用して歌の学習をした(図 14)。また、文字指導では、文部科学省 HP からダウンロードしたワークシートを学習カードにはり付けて使用した。



図 14 歌の指導用の拡大資料等

(3)短時間職員研修の実践

2018 年度に課題となった職員の「英語力」に対する実践として、年間を通じた短時間研修を行った(図 15、16)。ALT の来校日である水曜日に合わせ、放課後の 15 分間を活用し、短時間の外国語研修を行った。教員を低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロックに分け(各 3~5 名程度)、それぞれのブロックが一月に一回程度 15 分間の研修を行うことを目標にした。授業の“Small Talk”を視野に入れ、それぞれの回には話題と中心となるフレーズを示し、ALT と共に英語を活用して会話することとした。

「ALT とおしゃべりをする感覚で、気軽に」を大切に、職員室の中央テーブルでお茶を飲みながら研修を行った。研修内容は、「スモールトーク・教室英語・その他英会話の初歩的な内容」とした。初回は「自己紹介」「授業中使う教室英語」として、キーフレーズを“My name is -.”“I like -/(ing). How about you?”“What - do you like?”などとし、ALT と表現の発音練習をした上で、ALT を含めた参加者同士で尋ねたり答えたりし、言い方が分からない表現は参加者同士や ALT に確認をしながら会話をしていった。第 2 回目以降は、「夏休みにしたいこと」でキーフレーズは“What do you want to do(during your summer vacation)?”“I want to do - (during my summer vacation).”などを扱った。他にも「小学校生活の思い出」「学校の行事の説明」や「夏休みの思い出」の内容を扱うなど、*We Can!* で扱われている内容を意識し、出来るだけ年間指導計画でそれらを扱う時期に合わせて研修を行った。



図 15 短時間研修の様子

2. 研修内容

(1)「自分や相手の好きなもの」「夏休みにしたいこと」

キーフレーズ: What - do you like? I like -.
Where do you want to go (during your summer vacation)?
What do you want to do (during your summer vacation)?
I want to go to - (during my summer vacation).
I want to do - (during my summer vacation).

Reaction キーフレーズ: Oh, really.
Nice.
Me, too.
That's interesting.
Tell me more.
Sorry, could you speak more slowly?
Why?

質問キーフレーズ: What's (日本語) in English?
What's the meaning of “わからなかった表現”?

図 16 短時間研修で使用した資料

(4)長期休業中の職員研修の実践

長期休業中の職員研修の実践として、他小学校の校内研修、所属する町での小学校教員対象の職員研修、所属校での職員研修を担当した。

①鳩山町立亀井小学校校内研修会

2019 年 7 月 25 日(木)に勤務地の隣町にある亀井小学校で校内研修会の指導者を担当した。研修内容は以下の通りである。

はじめに、新学習指導要領の移行期間から全面实施への流れ、今後外国語(活動)の指導で求められることなどに

について話した。また、亀井小学校の教員が外国語(活動)を指導する上で不安に感じていることや、普段使用している教室英語など、アンケートからの考察を示した。

次に演習として、実際に英語を活用した研修を行った。参加者の姓を食べ物、名を色で決めてもらい、自分でつけた名前で自己紹介をする活動、「I like -」の表現を使ってペアで30秒間お互いを褒め合う活動、分からない表現を英語で尋ねる表現などの練習などを行った。

続いて複数の帯活動「あいさつ」「歌」「発音・語彙指導」などについて一つ一つ解説し、参加者が児童役となった演習を行った。主活動として *Let's Try!*、*We Can!* を活用した活動については、デジタル教材の活用法を中心に紹介するなどして、90分の研修とした。

②ときがわ町外国語活動指導法研修会

2019年8月21日(水)にときがわ町の小学校3校の教職員研修として、ときがわ町外国語活動指導法研修会の指導者を担当した。

研修内容は以下の通りで、亀井小学校で行った内容を基本とし、内容の調整を加えて行った。

はじめに、来年度から新学習指導要領が全面実施されるにあたり、「外国語活動」と「外国語科」の大きな違いが「慣れ親しみ」と「定着」であることを話した。また、事前アンケートから、ときがわ町の小学校教員が外国語(活動)を指導する上で不安に感じていることや、普段使用している教室英語について、外国語(活動)の研修で行いたいことなどを示した。

次に演習として、実際に授業案を活用した授業動画を視聴した後、「あいさつ」「歌」「発音・語彙指導」など、複数の帯活動の一つ一つについて解説し、参加者同士で演習を行った。主活動として *Let's Try!*、*We Can!* を活用した活動については、デジタル教材の活用法を中心に解説するなどした。(図17)



図17 ときがわ町外国語活動指導法研修会の様子

③ときがわ町立玉川小学校外国語(活動)校内研修

2019年8月22日(木)に所属校で外国語(活動)の校内研修を担当した。内容は、授業案の流れの確認、「Work in pairs.」「Make groups of 4.」などよく使う教室英語の練習、「f / l / r / v」などを発音の重点とした「月・曜日・数字」などの発音練習、授業案・デジタル教材を活用した模擬授業、

“Small Talk”として、夏休みの思い出を“I went to -.”“I enjoyed -.”“I ate -.”などの表現を使い、職員同士での英語による会話練習をした。

この研修は普段所属校で行っている月1回15分の短時間研修の中ではできないことを中心に行った。短時間研修が英語での会話に重点を置いたものであることに対し、この研修は授業の進め方、授業中に使用することのできる具体的な教室英語の活用、発音練習を中心に、解説を交えながら演習を行った。

8. 研究の結果(2年次)

研究テーマ「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開」の疑問(1)と「効率的な職員研修の研究」疑問(2)について、授業の実践者にインタビューを行うと共に、児童と教職員にアンケート調査を行った。

疑問(1)「複数の帯活動を取り入れた授業展開にすれば、担当教員は指導しやすいと感じるようになるであろうか。」について、以下は実践者へのインタビューのまとめである。

<複数の帯活動を取り入れた授業展開と授業案について>

- =よかった点 △=課題点など
- そのままやれば誰でもできるので、小学校教員の実態にあっていると思う。
- 進行するための英語が書いてあるので英語が使いやすい。授業を進める上で必須の資料となっている。
- 最初は授業をするのが不安だったが、授業案の流れのおかげで授業することに少し安心感が出てきた。
- 外国語活動の授業をT1でできた感覚がある。
- 毎回発音・語彙練習(中学年:アルファベット)が入っていたのがよかった。子供たちが習ったアルファベットを口ずさむようになった。
- 授業案でキーフレーズとめあてとのつながりが持てた。
「キーフレーズとめあてのつながりがわかった」などの振り返りが児童から出てきた。
- 時間ごとに変わる内容の部分に下線が引いてあったりするので、自分やALTが内容を把握しやすい。
- 単語ゲームは盛り上がり、語彙力がつくと思うが、時間がかかる。年間70時間になったら週1時間だけ入れるなどの工夫は必要だと感じる。
- △あいさつ表現は1年中毎回同じものではなく、中学年であっても既習表現をどんどん入れてもいい。
- △一時間に身につけさせたいものがわかりづらいところや、めあてと主活動の「ずれ」を感じることもある。
- △質問、キーフレーズの英語がすぐに出てこなかったのが、よく使う教室英語一覧表を表紙の裏などにつけておくといい。

<教材整理について>

- 教材がうまく計画され、授業内容に応じた語彙練習ができています。

○OCDに歌がまとまっていてやりやすかった。
△文字指導に使っているワークシートはどこから書いたらいいのかわかりにくかったので、書き順を載せるなどの工夫が必要で、デジタル教材と併用した方が良い。

児童へは5・6年生58名、3・4年生68名対象にアンケートを行い、6段階(「6」が最もあてはまる)で調査した。その結果、「外国語の授業が好きである」の項目では、6・5・4が合わせて5・6年生が80%、3・4年生が94%、3・2・1が合わせて5・6年生が20%、3・4年生が6%、「授業に積極的に参加している」の項目では6・5・4が合わせて5・6年生が90%、3・4年生が88%、3・2・1が合わせて5・6年生が10%、3・4年生が12%という結果が出た。複数の帯活動を取り入れた授業展開は児童の学習意欲も概ねよく保障されていたと考えられる。

疑問(2)「『話す』に焦点を当てた継続的な短時間研修と授業展開に合わせた研修を行うことで、指導力や英語力を高める研修を効率的に行うことができるであろうか。」について、以下は研修参加者へのインタビューのまとめである。

<短時間研修について>○=よかった点 △=改善点
○短時間研修のときにALTがいてくれたので授業でもコミュニケーションを取りやすくなったと感じた。
○研修で学んだ「That's nice.」「Tell me more.」など、相手にリアクションをする表現を授業で使えた時があった。
○ALTと授業以外に英語でコミュニケーションがとれてよかった。

アンケートに関しては、短時間研修参加者10名対象に行い、6段階(「6」が最もあてはまる)で調査した。その結果、「英語の短時間研修は英語力向上に効果があると感じた」の項目では、6が3名、5が2名、4が4名で合わせて9名(90%)、3が1名(10%)、「短時間研修を行ったことで、外国語・外国語活動の授業をする不安がやわらいだ」の項目では、6が1名、5が3名、4が5名で合わせて9名(90%)、3が1名(10%)という結果になった。一方、「短時間研修(月1回15分)の負担感」の項目では、5が3名、4が2名、合わせて5名(50%)、3が1名、2が1名、1が3名、合わせて5名(50%)だった。

また、長期休業中の職員研修に関して、鳩山町立亀井小学校校内研修会とときがわ町外国語活動指導法研修会を終えた後に取った事後アンケート(所属校職員分も含む)を取り、6段階(「6」が最もあてはまる)で調査した。(回答者37名)。その結果、「外国語・外国語活動の授業をすることに対し、不安がやわらいだ」の項目で、6が10名、5が14名、4が8名で合わせて32名(86%)、3が5名(14%)、「英語を使うことに対し、不安がやわらいだ」の項目で、6が5名、5が15名、4が12名で合わせて32名(86%)、3が4名、2が1名で合わせて5名(14%)だった。「話す」に焦点を当てた継続的な短時間研修と授業展開に合わせた研修は、外国語(活動)の指導や英語を使うことに関して不安をやわらげる

効果があると考えられる。

9. 成果と課題

以上の結果から、研究テーマ「学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開の研究」の疑問(1)「複数の帯活動を取り入れた授業展開にすれば、担当教員は指導しやすいと感じるようになるであろうか。」は、授業案を活用し、教材を整理することで「担当教員は指導しやすく感じるようになる」ことがわかった。課題点としては、帯活動の時間配分・内容の精選等である。

「効率的な職員研修の研究」の疑問(2)「『話す』に焦点を当てた継続的な短時間研修と授業展開に合わせた研修を行うことで、指導力や英語力を高める研修を効率的に行うことができるであろうか。」は、「話す」に特化した外国語短時間研修、授業実践、長期休業中にある程度の時間を使った研修により、概ね「指導力や英語力を高める研修を効率的に行うことができる」と言えると考えられる。課題としては、短時間研修であっても、参加者の負担感軽減のために研修方法の工夫や時期の配慮が必要である。

今回の研究を通じ、今後も授業の質が確保された指導のしやすい外国語・外国語活動の授業展開を目指すと共に、教師が身に付けたものが児童にしっかりと還元されていくような職員研修の在り方を研究していきたいと感じた。

10. 参考資料

- 及川賢(2017)。「小学校英語指導に関する教員の不安度—教員経験年数、英語指導年数、中学校英語教員免許の有無による違い—」『埼玉大学紀要 教育学部』66(2),499-512.
- 及川賢(2018)。「小学校外国語に対する教員の意識～研究指定を受けた地域の特徴～」『日本児童英語教育学会(JASTEC)第39回全国大会資料集』107-110.
- 及川賢(2019)。「小学校外国語に対する教員の不安と今後の研修内容へ向けての提言—英語教育強化事業を経験した地域でのアンケートから—」『埼玉大学紀要 教育学部』68(2),465-485.
- 作井恵子(2018)。「小学校教員の英語力調査と研修についての提案」『日本児童英語教育学会(JASTEC)第39回全国大会資料集』65-68.
- Benesse 教育研究開発センター(2011)。「第2回小学校英語に関する基本調査教員調査 2010 ダイジェスト」
https://berd.benesse.jp/up_images/research/dai_all.pdf
- 松宮新吾(2013)。「小学校外国語活動担当教員の授業指導不安にかかわる研究」『研究論集』97,321-338。(関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部)
- 文部科学省(2018)。「教員勤務実態調査(平成28年度)の分析結果及び確定値の公表について(概要)」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/09/1409224.htm
- 吉田研作(2017)。「これからの小学校英語の役割と課題」『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』8,1-14.